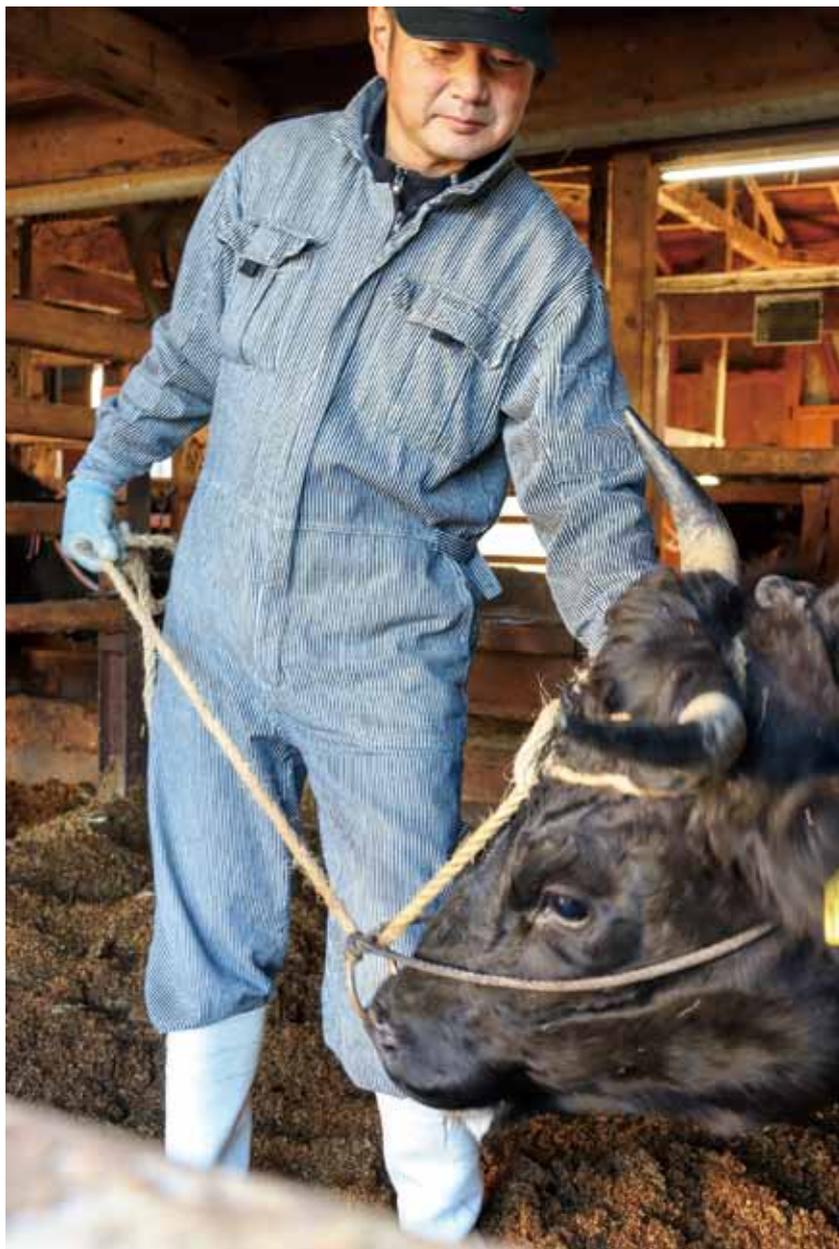


農委

よねざわ



がんばっています！

G-1米沢牛ブランドをけん引

上長井地区、遠山町で米沢牛を育てる鈴木英行さん（49）をご紹介します。英行さんは妻、三人娘、両親、祖母の8人家族で、米沢牛84頭の肥育を主体に、水田（10ヘクタール）などの複合経営をなさっています。出荷した米沢牛が日本一の称号を受賞するなど、父寿一さんとともに米沢牛

の達人として知られており、JA山形おきたま米沢牛出荷組合長、米沢牛振興部会副会長として、日夜、米沢牛のブランド力アップのため、心血を注いでいらつしやいます。

今後は「これまで以上に、オール米沢の手作り感を大切に、記憶に残る米沢牛の生産をしていきます。」と意欲を語る英行さん。米沢ブランドのけん引役として益々の活躍が期待されます。

【農業委員 鈴木晃子】

主な記事

- 新年のご挨拶 2
- 農地パトロール 3
- 令和元年度山形県農業委員会大会が開催 3
- 合同ブロック協議会視察研修について 4
- 市長と市議会議長に意見書を提出しました 4

- 農林課からのお知らせ 5
- 農業委員と農地利用最適化委員を募集します 6
- 地域かわら版（米沢市功労者） 7
- 地域かわら版（農と食の元気っ子講座） 7
- りんごの里鎗山に「よってってCAFFE」オープン 8

新年のご挨拶



農業委員会会長 伊藤 精司

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
 昨年は、台風15号・19号や豪雨など気象災害の多い年でした。本市でも被害がありました。農作物への影響は少なく、稲作においては、作況指数105のやや良となり、米価については、県・市の再生協議会で示した作付けの目安が達成でき、全国の作況指数が99であったことから、若干上昇しました。

農政においては、米国抜きで環太平洋連携協定（TPP）・欧州連合（EU）との経済連携協定（EPA）が発効され、そして米国との物品貿易協定（TAG）も国会で承認され、畜産を中心とします厳しい農業情勢となることが予想され、国内対策をより一層強化するよう要望しなければなりません。また、食料・農業・農村基本目標の見直しの年に当たり、いろいろ議論されていますが、我が国の食料安全保障の確立と食料自給率や自給力の向上を目標とした施策の実践についても働きかけて参ります。

農地中間管理事業については、5年目の見直しに決まり、農業委員会も積極的に関わることとなり、地域での「人・農地プラン」での話し合いにより、担い手へ農地の集積・集約をより一層進めていく必要があります。今年度は、7月に農業委員・農地利用最適化推進委員の改選期に当たりますが、両委員とも、より一層連携を強化して本市農業の振興発展に向け活動して参ります。

結びになりますが、農家の皆様、そして関係諸機関の御理解と御支援を衷心よりお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。



謹んで新春のお慶びを
 申し上げます

本年もよろしくお願ひいたします

農業委員会委員一同 農地利用最適化推進委員一同

会長	伊藤 精司	委員	相田市三郎
会長職務代理者	小関 善隆	委員	石川 正義
委員	江口 益美	委員	伊藤 俊浩
委員	遠藤 伊一	委員	桐澤林右衛門
委員	樋渡 由美	委員	黒田義一郎
委員	二宮 啓一	委員	後藤 仁
委員	高橋 信夫	委員	寒河江一紀
委員	佐久間英之	委員	佐藤 利夫
委員	上村 貞義	委員	佐藤 俊英
委員	古畑 功一	委員	新藤 広一
委員	高橋 秀治	委員	鈴木 勘助
委員	菅野英一郎	委員	角屋 耕吉
委員	我彦 正福	委員	竹田 修二
委員	高橋 祐弘	委員	本田 隆則
委員	大橋 久芳	委員	山口 正行
委員	山王堂民榮	委員	吉田 健二
委員	大野澤 進		
委員	鈴木 晃子		
委員	田代 昇一		



農地パトロール

農農業委員会の大切な業務の一つに「農地パトロール」があります。

米沢市農業委員会では、8月は遊休農地、10月は農地法の貸借、所有権移動、転用等の許可後の確認業務を毎年2回実施しております。

8月に行われたパトロールでは、市内各地区3ブロックに分かれて農業委員、農地利用最適化推進委員、事務局で一同に遊休農地の確認作業を行いました。

荒廃の進行した遊休農地は、農家が営農意欲を失うことや周辺の農地に病害虫や有害鳥獣の被害を及ぼすなど、様々な問題を引き起こします。パトロールで把握した遊休農地の所有者に対し、今後の農地利用の意向調査を実施し遊休農地の解消に取り組んでいます。

今後も市内農地の保全と共に遊休農地を発生させない対策や解消に向けて取り



組んでいきます。

10月の農地法のパトロールでは、農地法に関する貸借や所有権移転された農地が耕作されているか、農地転用された農地が申請どおりの計画で転用されているかをパトロールし農地の保全に努めています。

農地の保全について不明な点がございましたら、お近くの農業委員・農地利用最適化推進委員へご相談ください。

【農業委員 佐久間英之】



パトロールの様子

令和元年度

山形県農業委員会大会が開催



大会会場の様子

山形県農業委員会大会が、令和元年11月8日に村山市民会館で開催され、県内35の農業委員会から関係者を含め約800名の参加がありました。

開会行事では、農業委員会憲章唱和、主催者あいさつに続き1個人と1農業委員会に農林水産大臣表彰、12個人が山形県農業会議会長表彰の栄誉を受けられました。

引き続きの大会では、全国農業委員会ネットワーク機構の黒谷情報事業本部長より「農業委員会組織をめぐる情勢と課題について」の情勢報告がなされ、その後、次の4議案が提案され決議されました。

議案第1号 食料・農業・農村政策の強化に向けた政策提案決議



壇上で発言する伊藤会長

議案第2号 「地域の農地を活かし、担い手を応援する全国運動」を推進するための申し合わせ決議
 議案第3号 農業者年金の加入推進と情報提供活動の強化に関する申し合わせ決議
 議案第4号 農地利用の最適化を推進するための意見書提出に関する決議

議案第1号については、山形県選出国会議員へ、議案第4号については、山形県知事、山形県議会議長へ要請することにも報告され、次期開催地最上地区の新庄市農業委員会会長のあいさつで閉会しました。

【農業委員 田代 昇一】

合同ブロック協議会視察研修について

令和元年9月10日に農業委員・農地利用最適化推進委員会合同で「JA全農山形おきたま園芸ステーション」と密苗圃場・営農型発電圃場を視察しました。

JA全農山形おきたま園芸ステーションは、山形県本部が生産振興を柱に、広域機械選果機能や物流拠点機能を備えた「園芸ステーション」を県内3か所（県南・東北・荘内）に設置し、直販事業の拡大に取り組みすることを目的として設置されました。

なかでも、大規模な水田畑地化計画にもとづく園芸生産振興が急務である県南地区を優先して取り組み、川西町大塚地区に地域生産振興品



園芸ステーション 色彩選別後人力で選別



密苗圃場 (万世町地内)

目である「えだまめ(最大8.3トン/日量)」、「アスパラガス(最大1.8トン/日量)」の広域機械共通施設や「シャインマスカット」、「西洋なし」、「啓翁桜」などの包装加工施設、「西洋なし」、「加工キャベツ」の保管調整、予冷施設が設置されています。密苗圃場は、万世町の雪若丸圃場を視察しました。密苗圃とは、通常より多く種もみを播き育苗箱を少なくして省力化を図る技術です。視察した圃場は、1枚当たり乾物で280グラム播種したことにより、田植えは1反当たり13箱の使用でおさまり育苗や苗運搬の省力化が図られたそうです。その反面、播種から2週間程度で稚苗での田植えとな



営農型発電 (窪田地内)

ります。水かかりの問題から代掻きができなく、苗が伸びすぎた反省点から播種を数回に分けて行うなどの工夫が必要であるといつていました。営農型発電は、農業を行いつつながら発電を行うもので、太陽光パネルを設置した窪田町地内の稲作、雪若丸3反の圃場を視察しました。圃場は、通常の栽培と比べると太陽光パネル直下はやや青く見えたが品質、収量ともに問題ないと感じられました。

【農業委員 山王堂民栄】

市長と市議会議長に意見書を提出しました

農業委員会は、農家の皆さんとの意見交換会などを通じて、農業者の意向を積み上げ、農政に反映させるため、意見の提出を行っています。令和元年9月17日に「農地等の利用の最適化の推進に関する意見書」を市長と市議会議長に提出しました。その内容は主に以下の6点をお願いしたところです。

今後農政振興に対するご意見があれば、お気軽に農業委員や推進委員までご相談ください。

「令和元年度農地等の利用の最適化の推進に関する意見書」

- 1 担い手への農地利用の集積・集約化について
- 2 農家子弟農業後継者の育成のための市独自の給付制度の創設
- 3 農業次世代人材投資事業の予算確保
- 4 遊休農地解消事業を復活するよう、国・県への働きかけ
- 5 有害鳥獣対策の予算の拡充
- 6 農地中間管理機構関連土地改良事業調査設計費について、地元負担が軽減するよう国への働きかけ
- 7 ため池の長寿命化工事の推進



市長への意見書提出の様子



議長への意見書提出の様子

農林課からのお知らせ

米沢市内の農家の皆様へ

①有害鳥獣出没・被害調査への御協力に関するお願い

本市では、鳥獣被害がある地域への適切な支援や、県や国に対して対策要望を行う際の基礎資料とするため、鳥獣による農作物被害調査を毎年行っており、今年度の調査は以下のとおり実施しております。

◆調査について

- 1 調査内容 (1)農地等への鳥獣の出没・被害調査 (2)鳥獣被害を原因とする耕作放棄地調査
- 2 調査対象期間 平成31年4月1日～令和元年11月30日
- 3 調査対象地域 南原、山上、万世、三沢、田沢、遠山、上郷、広幡等
- 4 調査方法 該当地区へのアンケート調査(回覧板等)、市による現場確認等
- 5 提出期限 令和2年2月14日(金)

◆調査結果の用途

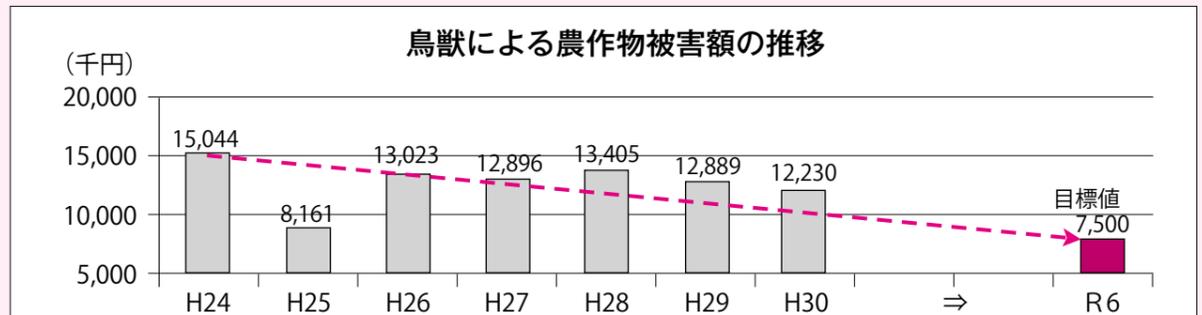
以下予算要求の基礎資料等に活用しておりますため、鳥獣による農作物被害があれば報告をお願いいたします。

◇予算の用途

- 追払用火の配布
- 電気柵等補助
- その他、地域や猟友会への支援

②鳥獣による農作物被害額の推移について

米沢市では、市内8地区の協議会や猟友会等の関係団体と連携しながら、様々な被害対策に取り組んでおり、平成24年度の被害額を、令和6年度までに半減させることを目指しています。



※H25は、全国的に鳥獣の出没が少ない特異な年でした。
 ※H28からイノシシによる被害が顕著になりましたが、広域電気柵等の防除対策効果が出始めています。

③電気柵等の補助について

米沢市(米沢市有害鳥獣対策連絡協議会)では、鳥獣害対策として以下のとおり補助を行っています。

補助内容	市単独補助		国庫交付金	
	電気柵・侵入防止柵等(狭域)	狩猟免許取得に係る経費	電気柵・侵入防止柵等(広域)	地区協議会活動支援
申請者	農家等	猟友会に入会した方 狩猟免許取得者	受益戸数が3戸以上	地区協議会
補助率	事業費の半額(上限6万円)	事業費の概ね2/3	定額(自力施工) 半額(委託施工)	事業費の半額程度
その他	予算の限り。		実施前年までの申請を原則とする。	

詳しくは、農林課森林農村整備担当(内線5011)までお問合せ下さい。

地域かわら版

米沢市功労者

農業振興に功労

角屋 きくゑ氏



去る11月3日、文化の日にアクティ米沢において米沢市表彰式が開催され、前農業委員の角屋きくゑ氏が農業振興の功績により米沢市功労者として表彰を受けられました。

角屋氏は、平成17年に本市初の女性農業委員となり、女性の立場から、地域で農業を頑張っている青年後継者の婚活事業にいち早く力を入られ、女性農業委員の上村委員、遠藤委員と共に婚活チラシを手に東京都内や仙台市まで足を延ばして結束力のある活動をされました。また、地産地消、食育の活動も精力的に取り組み、現在の農と食の元気っ子講座の先駆けとなった。「米沢元氣村」の開村活動にも尽力されました。手探りの中での活動だったため、大変な苦勞もあつたかと思いますが、野菜を作る喜び、収穫して食べる喜びを子ども達に体験させ、その笑顔と共に楽しく活動されていきました。

これらの活動をはじめとして、米沢市農業委員会委員として12年の長きにわたり、地域農業の振興に寄与される

とともに、この間、

農政振興部長として、農政振興に

関する諸問題の解決に向けて精力的に取り組まれました。

この度の受章、誠に



表彰式の様子



10月26日今年度2回目の講座が、松川コミュニティセンターを会場に開催されました。今年度のテーマは「大豆」です。第1回目の枝豆の収穫と調理に続き、今回はみそ作りとみそを使った料理作りを行いました。1年生から6年生までの15名の小学生とその家族が集まり、「枝豆が大豆になったこと」「お米から糀ができること」「大豆と糀と塩を混ぜ合わせる」「お米を洗ってよくすすぎ、みそがでる」ということを学びました。大豆と麹をビニールの敷物からこぼさないように上手に混ぜあわせて仕込みました。その後は、みそを使った料理、豚汁、みそ田楽・みそおにぎりや旬のキノコの炊き込みご飯を作ってみるなど食べました。農業委員も一緒に作り、秋晴れの日



の楽しい半日を過ごしました。みそは、今年の夏を越すと食べ頃になります。

【農業委員 樋渡由美】

農業者年金に加入して豊かな老後を！

～加入要件は3つ、メリットは6つ～

加入要件

- ①20歳以上60歳未満の方
- ②国民年金第1号被保険者
- ③年間60日以上農業に従事する方

メリット

- ①積立方式で安心
- ②加入・脱退も自由
- ③保険料は全額社会保険料控除
- ④保険料はいつでも変更可能
- ⑤農業の担い手には保険料補助
- ⑥終身年金80歳までの死亡一時金あり

国民年金の支給額は

年額156万円

農業者の皆さんが加入している国民年金は、40年加入、納付した場合、夫婦二人で月額約13万円です。

(平成30年度の老齢基礎年金の満額参照)

老後の家計費現金支出は

年額288万円

高齢農家世帯(世帯主が65歳以上の夫婦2人)の家計費は、現金支出で月額約24万円です。(平成28年総務省家計調査を基に推計)

それに対して

農業者年金は、農業者のための頼れる公的年金です。少しでも興味を持たれた方は、事務局へお知らせ下さい。説明に伺います。



農業委員と農地利用最適化推進委員を募集します。

両委員とも、農業に熱意と識見を有する方を募集します。あなたの力で、①担い手への農地利用の集積・集約化の推進 ②遊休農地の発生防止・解消 ③新規参入の促進による農地利用の効率化及び高度化を図る農地等の利用の最適化を推進しましょう。

項目	農業委員	農地利用最適化推進委員
応募方法	◎他薦又は自薦によります。 ◎所定の届け出様式(推薦用と応募用の2種類あります。)に必要事項を記載の上、直接または郵送で米沢市農業委員会事務局へ提出してください。 ◎届出用紙は、農業委員会事務局で直接お受け取りくださるか、1月15日(水)以降の市ホームページよりダウンロードしてください。	
応募受付期	令和2年1月16日(木)～2月12日(水)(28日間) 必着	
対象者	農業に関する識見を有し、農地等の利用の最適化の推進に関する事項やその他農業委員会が所掌する事項に関し、その職務を適切に行うことができる人。	農業に関する識見を有し、担当する区域において農地等の利用の最適化の推進のための活動ができる人。
募集委員数	19名(うち農業者と利害関係のない中立委員1名) ○市内全域を1区として募集します。	16名 ○担当区域(旧村単位)ごとに人数を定め募集します。
任期	令和2年7月20日から令和5年7月19日まで	
報酬	特別職報酬例により支給されます。	
主な職務内容	◎毎月1回定例総会に出席して、農地の権利移動等の許認可及び農地転用許可の審査を行う。 【推進委員と連携する業務】 ・担い手への農地集積や集約化(人・農地プランの話し合いへの参加) ・遊休農地の発生防止と解消(農地パトロール) ・農業者新規参入の促進業務 ・その他農業委員会の所掌事項	【農業委員と連携する業務】 ・担い手への農地集積や集約化(毎年実施する人・農地プラン計画の見直しによる出し手受け手の意向調査) (人・農地プランの話し合いへの参加) (農地中間管理事業マッチング案の調査) ・遊休農地の発生防止と解消(農地パトロール) ・農業者新規参入の促進業務 ・その他農業委員会の所掌事項
応募資格	◎次のすべてに該当する人は、委員に応募することができます。 ・農業委員会法第8条4項(破産者・禁錮以上の刑に処されている者)の各号に該当しない人 ・農業委員は、基本として市内に住所を有する人 ・推進委員は、市内に住所を有する人 ・兼職が禁止されている市の附属機関の委員でない人 ・市の職員でない人 農業委員と農地利用最適化推進委員の両方に応募することはできません。	
選任方法	推薦を受けた人および応募した人の中から候補者を選任し、市議会の同意を得たうえで市長が任命します。 ●必要に応じて農業委員評価委員会を開催し、提出された書類をもとに選考します。 ●候補者の選任にあたっては、法律の規定などで、選任にあたっての条件があります。 ・認定農業者が定数の過半数を占める。 ・農業者と利害関係のない中立委員を含める。 ●次の事項についても配慮します。 ・青年(50歳未満)や女性の積極的な登用をはかる。 ・委員の配置は、区域別に隔たりがないようにする。	推薦を受けた人および応募した人の中から選定し、農業委員会が委嘱します。 ●必要に応じて農地利用最適化推進委員評価委員会を開催し、提出された書類をもとに選任します。
その他	◎両委員とも米沢市の特別職の非常勤職員となります。 ◎秘密保持の義務があり、委員として職務上知り得た情報は、在任中だけでなく退任後も漏らしてはいけません。 ◎応募状況については、ホームページで公表します。なお、公表内容は必要事項のみ掲載します。	

農地利用最適化推進委員の担当区域と募集人数

(区域割は変更せず、農地面積、農家数、区域の状況などを検討した結果、前回平成29年度の改選と同じ人数としました。)

No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	計
区域	旧市	上長井	万世	広幡	六郷	塩井	三沢・田沢	窪田	山上	上郷	南原	11区域
人数	2	1	1	1	1	1	2	2	1	2	2	16

※田沢は、三沢地区に含む。矢子地区も三沢・田沢地区に含む。

りんごの里館山に「よってってCAFFE」オープン

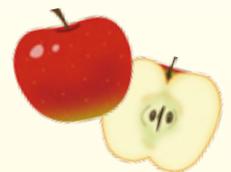
昨年の9月、国道121号館山バイパス沿いに「よってってCAFFE」がオープンしました。オーナーは館山存在の果樹農家、中山城樹(46)純子ご夫妻。代々果樹農家として、りんご、さくらんぼ、ラ・フランス、桃、その他プルーンやベリー類等の小果樹類を栽培しています。

バイパス開通からほどなく、直売所を設け、販売にも力を入れるようになりました。新鮮な果物が評判を呼び、より付加価値をつけた商品の販売を行う為、この度のカフェ併設になりました。旬の果物を使用した生絞りジュースやスイーツ、ソフトドリンクやソフトクリームなど、メニューもオリジナルな季節感あふれるものになっています。評判も上々で、若者からお年寄りまでお客様の声が響いています。今年は、さくらんぼの実る6月上旬にオープン予定で道路沿いなので、すぐわかります。

皆さんぜひ「よってって」。

営業時間 10:00～16:30 シーズン中 無休

【農業委員 上村貞義】



広報「農委よねざわ」103号

発行日 令和2年1月1日

発行 米沢市農業委員会
〒992-8501 米沢市金池5-1-25
☎0238-22-5111 (内線5905)
E-mail:noui@city.yonezawa.yamagata.jp

委員長 我彦 正福
委員 遠藤 伊一 樋渡 由美 上村 貞義
山王堂民栄 鈴木 晃子 佐久間英之
高橋 秀治 田代 昇一

印刷 株式会社羽陽印刷

編集後記

あけましておめでとうございます。令和になって初めての年明けです。これからも広報を通して農業委員会の活動、役割、地域の取り組み、農政情報などを紹介し、農業振興の一助となるよう広報委員一同頑張っていきたいと思っております。今年もよろしくお祈りいたします。

【広報委員長 我彦 正福】

